

なびあ

NAGASAKI INTERNATIONAL ASSOCIATION

VOL 109
2020.12



2020年11月21日(土) 日本文化体験教室「着物を着て出島散歩！～茶道体験&長崎検番踊り見学～」(出島表門橋にて)

Contents

●事業報告

- ・ 青少年国際理解講座
「学ぼう！遊ぼう！世界体験旅行！」…………… 2
- ・ 日本文化体験教室
「着物を着て出島散歩！～茶道体験&長崎検番踊り見学～」 …… 2

●開催案内

- ・ カレンダー市2021 ～あなたもできる国際協力～…………… 3

●外国人支援

- ・ みんなで「やさしい日本語」(全4回)
～第3回:「やさしい日本語」活用例②～…………… 3

●コラム

- ・ コロナ禍でも頑張っています！…………… 4
～長崎在住経験のある外国人の皆さんからのメッセージ～
- ・ 新年に福招き！「ポツチュモニ(福袋)」…………… 5

●世界でキラリ☆JICA海外協力隊

- ・ Murahō! Amakuru?(ムラホ! アマクル?)みんな元気? …… 6

●協会からのお知らせ

- ・ 外国人のための専門家による相談会…………… 7
- ・ 長崎県の在住外国人…………… 7
- ・ 外国人向けお助けガイドブック…………… 8
- ・ 災害時多言語ボランティアへ登録しませんか?…………… 8
- ・ 国際交流支援プロジェクト…………… 8
- ・ 賛助会員の募集…………… 8

協会公式「facebook ページ」で
さまざまな情報を発信しています!

いいね! &
フォローをお願い
します♪



私たちは賛助会員として協会を応援しています

安達株式会社 長崎空港ビルディング株式会社
ヤナセ産業株式会社 扇精光ホールディングス株式会社
長崎県青果移出商業協同組合 FROMながさき協同組合



公益財団法人 長崎県国際交流協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931

095-823-3929

FAX 095-822-1551

Eメール nia@nia.or.jp

HP <https://www.nia.or.jp/>

FB <https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>

事業報告

青少年国際理解講座

2020年9月26日(土) 開催 / 講師: ^{チェ}崔ダウン 国際交流員 / 参加者: 5名

オンライン講座 学ぼう! 遊ぼう! 世界体験旅行! 韓国編



例年夏休みに、小学生を対象に開催している青少年国際理解講座は、子どもたちに様々な国の文化に触れる機会を提供し、世界の国々への理解を深めてもらうことを目的としたものです。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのイベントが中止となりましたが、当協会初の試みとして、オンラインで開催しました。

県の国際交流員を講師に招き、韓国の言葉、文化、食事、民族衣装など、クイズを交えながら楽しく教えていただきました。オンラインをものともせず、講師の話に熱心に聞き入り、積極的に質問をしている子どもたちの姿が印象的でした。

子どもたちには、このイベントをきっかけに異文化に興味を持ち、視野を広げてもらえると嬉しいです!



チェ国際交流員



日本文化体験教室

2020年11月21日(土) 開催 / 参加者: 14名



着物を着て出島散歩! ~茶道体験&長崎検番踊り見学~

県内に在住する外国人を対象に、伝統的な日本文化に触れる機会を提供する日本文化体験教室を開催しました。中国、ベトナム、タイ、ミャンマー、カザフスタン、ベラルーシ、台湾など国際色豊かな14名が参加しました。

参加者の皆さんは、思い思いに選んだ着物に着替え、出島散策を楽しみました。その後、長崎検番踊り鑑賞や楽器を体験し、出島内の和室で抹茶と和菓子を味わいました。参加者は、海外との歴史が深い出島で、日本文化を体験し、日本への興味・関心をさらに深めたようです。



楽器体験で
検番さんと見事な
コラボレーション!



長崎名物“カステラ”と抹茶で
茶道体験!
ホッと一息!
でもやっぱり正座は難しい!?



開催案内・外国人支援

カレンダー市2021 ～あなたもできる国際協力～

主催: 学生国際NGO BOAT 共催: (公財)長崎県国際交流協会

1日限定
開催決定!

〈日 時〉2021年1月16日(土) 9:30～16:00

〈会 場〉長崎県勤労福祉会館 2階講堂(長崎市桜町9-6)

※昨年と会場が異なります。お間違いのないようお越しください。

〈寄付先〉国際NGO団体 Development Action for Women Network(DAWN)
Childhope Philippines Foundation〈お問い合わせ〉学生国際NGO BOAT / E-mail: boatotoiawase@live.jp
(公財)長崎県国際交流協会 / TEL: 095-823-3931

「学生国際NGO BOAT」は、身近な国際協力を目指して、恵まれない世界の人々の手助けとなるように取り組んでいる団体です。このイベントは、企業等から寄付していただいたカレンダーや手帳を低価格で販売し、収益金を開発途上国の支援に役立てようと実施しているものです。

今年は、長崎県勤労福祉会館で1日限定での開催です！皆様のご来場お待ちしております！



ご来場の際のおねがい

※新型コロナウイルス感染症拡大、インフルエンザ予防のため、マスク着用のご来場のご協力をお願いします。

※37.5度以上の熱のある方のご入場はご遠慮ください。



みんなで「やさしい日本語」(全4回)

～第3回:「やさしい日本語」活用例②～

著: みんなで暮らす凸凹ひろば
儀間由里香

今回は、「やさしい日本語」の活用イベントを紹介します。

「やさしい日本語」

ふだん、使っている日本語より
かんたんで、外国人や高齢者、
子ども、障がいのある人など、
みんなにわかりやすい日本語

2020年1月に長崎市で行われた映画祭では、
みんなが楽しめるように、「やさしい日本語」を使いました。

- ・パンフレットを「やさしい日本語」で書く
- ・トークイベントで「やさしい日本語」で話す
- ・展示物や字幕、ホームページにふりがなをつける など



映画祭ホームページ

「やさしい日本語」は、大切な情報保障の手段の一つです。

- 他にも
- ・音声ガイドや字幕をつける
 - ・段差のない会場をえらぶ
 - ・みんな自分とは違うと考える などなど

“みんな=いろいろな人たちが暮らす
私たちの社会について、もう一度考え
てみましょう。

★次回は、便利なアプリを紹介します！

コ ラ ム

コロナ禍でも頑張っています！～長崎在住経験のある外国人の皆さんからのメッセージ～



鄧 傑 (トウ ケツ) さん
～長崎水辺の森公園にて～

長崎の皆さん、こんにちは。以前、交換留学生として長崎で1年間（2019年10月～2020年9月）勉強した中国出身の鄧 傑（トウ ケツ）です。この機会に、皆さんとコロナ期間の生活を分かち合うことができるととても嬉しいです。

冬休み中、帰国していた上海から長崎に帰ってから間もなく、武漢で新型コロナウイルスが発生しました。当時、両親や家族はまだこのことを重大なこととして扱っていませんでしたが、病院で働いている友達から、その状況が非常に厳しいと聞きました。それから私は1日に何度も両親に連絡を取り、マスクや日常用品や食べ物などを買い、外出を控えてしっかりと清潔に

するように念を押しました。その後、中国各地で感染者が現れ始めました。医療はかつてない事態に直面し、特に感染者が最も集中している武漢では、医療物資不足の状況が深刻化しました。ウイルス流行の最前線で働く女性医療従事者たちは、防護服を長持ちさせるためにトイレに行くことができず、生理用ナプキンの交換もできない状況になりました。しかし、多くの指導者は男性で、そんな女性特有の状況を考慮することができませんでした。同じ女性として何かできることはないかと考えていたところ、Weibo（中国のSNSサイト）である団体が生理用品の寄付運動を立ち上げるのを知り、すぐに参加しました。

安全だと思っていた日本も、春休みが始まってから深刻な状況となりました。授業開始日が遅くなり、家に閉じこもる生活が始まりました。授業はオンラインとなり、先生、クラスメート、友達と会う機会を失いました。大好きな長崎の町を散策することや、マスクを外して新鮮な空気を吸うことができませんでした。長い間準備していた日本語能力試験、楽しみにしていた授業や学校行事もキャンセルされ、予定していた旅行プランも実行できなくなりました。新型コロナウイルス感染症は私たちの生活に強い影響を及ぼしました。しかし、長い自粛期間中は、心を静めて本を読んだり、映画を見たりしながら、自分の未来を真剣に考える良い機会にもなりました。

どんなに苦しい状況でも、世の中で永遠に変わらないものがあります。太陽は変わらず昇っています。花はいつものように美しく咲きます。自粛生活の中で溜まったストレスが、生きるエネルギーとなって、近い将来必ず実を結ぶと信じています。



Michael Pham (マイケル・ファム) さん
～稲佐山展望台にて～

こんにちは。私はマイケル・ファムです。アジア系アメリカ人です。私の故郷はウィスコンシン州のグリーンベイというところです。長崎には留学生として、半年間（2019年10月～2020年3月）住んでいました。

日本にいた頃に韓国旅行をしたのですが、その後自己隔離期間を経験し、多くのことが制限されとても気分が落ち込んでしまいました。一番辛かったのは、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大のため、留学の途中でアメリカに緊急帰国をすることになったことでした。もっと日本で勉強を続けたかったので、今まで一番辛い経験でした。しかし、大学のアドバイザーの手助けもあって、なんとかその辛さを乗り越えることができました。

アメリカに帰国した後も、また自己隔離期間を経験することとなりました。家族との再会、家庭料理などがとても嬉しく、わりとすぐに元の生活に戻ることができましたが、日本での日々が懐かしく、しばらくは日本のことばかり考えていました。気分が落ち込まないように、日本での生活、旅行、食べ物、楽しかったことなどを、友人と電話で話すように心がけました。また、私は、International Student Associationという大学で学ぶ各国からの留学生たちをサポートするグループの部長を務めています。私は、言葉や文化が異なる世界各国からの留学生たちと話をするのが大好きです。また、大学学生寮の寮長もしています。他の寮長たちと話し合い、協力して、より良い寮環境になるように努めています。

自己隔離期間を経験し、気分が落ち込むことが多くありましたが、良い面もありました。さまざまな制限がありましたが、与えられたすべての機会に感謝して、次の目標を設定し将来のことを考えたりすることもできました。今回、私の経験談を読んでくださってありがとうございました。長崎で留学生として過ごすことができたことがとても嬉しいです。たくさんの素晴らしい思い出が詰まった、私の第二の故郷、長崎をいつの日かもう一度訪問したいです。

コ ラ ム

新年に福招き！「ポッチュモニ」

アンニョンハセヨ！こんにちは！
長崎県国際交流員のチェです。

あと1ヶ月で、新しい年を迎えますが、韓国では、新年になると、親族や子どもたちに「ポッチュモニ（福袋）」を贈る風習があります。

「ポッチュモニ」とは、寿、福、富、貴などの文字を縫い付けて作る袋のことで、福を招くという意味があります。

新年に「ポッチュモニ」を贈る風習は、正月初めての子日（ねのひ）に、炒めた豆を赤い紙に包み、それを入れたポッチュモニを身に付けると、1年中邪気を払い、福を招くと信じたことに由来したと言われています。最近では、豆の代わりにお年玉を入れたりもします！

来年のお正月には、皆さんの手作りの「ポッチュモニ」に日頃の感謝の気持ちを込めて、周りの方々に贈ってみてはいかがでしょうか。

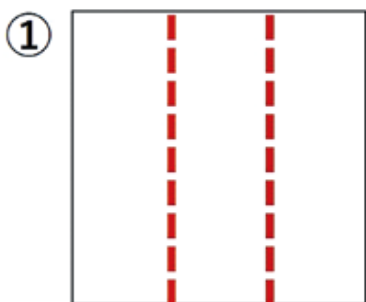


【イメージ出典：https://blog.naver.com/hohome_/】

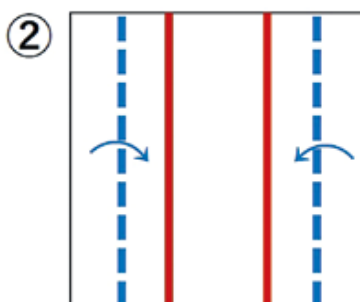
ポッ チュ モ ニ
복 주 머 니
福 袋

折り紙で作ってみませんか？

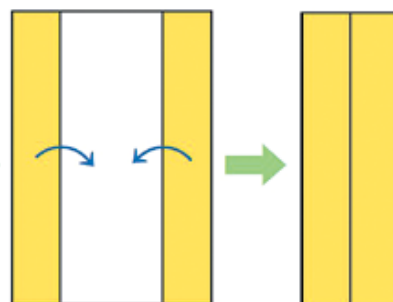
【ポッチュモニの作り方】



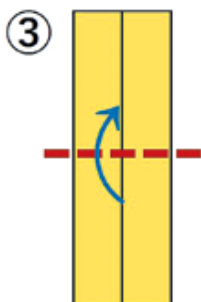
折り紙の裏面を上にして置き、
点線で3等分にして折りすじをつけます。



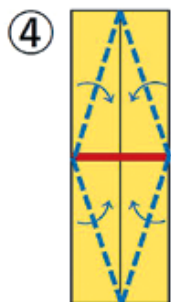
点線で折ります。



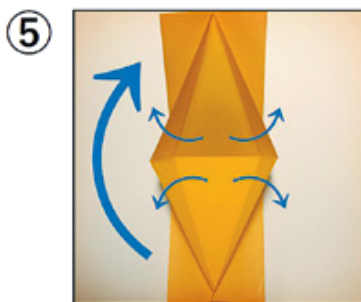
中心に合わせて折ります。



点線で折りすじを
つけます。



点線で折りすじを
つけます。



開いて折りすじに沿って
上側に半分に折りたたみます。

★出来上がり



出来上がった後に飾り付けをすると、
もっとかわくなります。
リボンや紐をつけるのもオススメです！

世界でキラリ★JICA海外協力隊



ムラホ！ アマクル？
Muraho! Amakuru?

みんな元気？

田川 統子(たがわ すみこ)さん

【2018年(平成30年)1次隊 ルワンダ コミュニティ開発】

世界中で活躍するJICA海外協力隊。2018年7月からアフリカのルワンダ共和国で『コミュニティ開発』隊員として活動してきた田川さんにお話を聞きました！



ルワンダ共和国（通称：ルワンダ）は、東アフリカに位置する国。首都はキガリ。『千の丘の国』とも呼ばれており、丘がたくさんあり、年中を通して過ごしやすい気候。野生のゴリラも有名。アフリカでもっとも人口密度の高い国。



みなさんこんにちは！みなさんは、ルワンダという国を知っていますか？ゴリラとコーヒーが有名なルワンダ。標高が高いので年間を通して過ごやすく、街の人々は日本人の性格と似ているところがあり接しやすい。道は綺麗でゴミが全然落ちていない。私にとってルワンダの第一印象は「イメージしていたアフリカと全然ちがう！」でした。

そんなルワンダで私は、水・衛生を通じた住民の生活向上を目指して活動を行ってきました。「協力隊+アフリカ=井戸掘ってる」という印象を持ってる人が多いと思いますが、水道がどんどん整備されてきている今でも、開発途上国、特に地方に住む人々にとって、安全な水を得るためには井戸がとても大切です。でも現実には、修理に充てるお金を集めていない、修理できる人がいないなどの理由から壊れたままの井戸がたくさん放置されていました。そこで、井戸の維持・管理を住民の手によって行えるような体制づくりに取り組みました。

一緒に住民の生活をより良くできないかと考える同僚、上手くいかないときに話を聞いてくれる友人、ただただ元気に一緒に遊んでくれる近所のちびっ子たち。本当にたくさんの人々に助けてもらった日々でした。彼らにとって私は「知らない外国人」じゃなく、「Sumiko」。そんなふうに仲良くて、とても楽しく過ごせました。

誰に会っても「元気？」と笑顔で挨拶をする。お金がなくても、困っている人がいれば手を差し伸べる。嬉しいことがあれば歌って踊って、体全体で喜びを表現する。そんな彼らの素直な生き方にたくさんの元気と笑顔をもらいました。また会えたら「元気だった?!」と強くハグしたいです！

ムラコゼ チャーネ
Murakoze cyane!! (ありがとうございました！)



水を汲む子どもたち



お母さんたちとドーナツ作り



近所の子どもたち

協会からのお知らせ

外国人のための専門家による相談会

長崎県にお住まいの外国人を対象に、在留資格、法律、仕事のことなどの専門家による相談会を行いますので、お気軽にご相談ください。

●対応言語：英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、インドネシア語、タガログ語など、多言語に対応します。

●相談料：無料

●秘密は絶対に守ります。

●相談は予約制ですが、当日、電話または直接お越しいただいても対応いたします。



～専門家による相談会～

場 所：出島交流会館 1 階（長崎市出島町 2-11 長崎県国際交流協会内）

電 話：095-820-3377

※毎月第 4 土曜日に開催しますが、月によって異なりますので日程についてはホームページ又はFacebook をご確認ください。

長崎県の在留外国人

長崎県には、10,995人（2019年12月末現在）の在留外国人が暮らしています。国籍・地域別ではベトナムが一番多く2,664人、次いで中国が2,514人、韓国1,225人と続きます。在留資格別では、技能実習3,226人、留学2,379人、永住者1,863人となっています。

長崎県外国人相談窓口では、県内にお住いの外国人の皆さんが安心して生活できるよう、生活や仕事など外国人からの相談を18の言語で受け付けています。

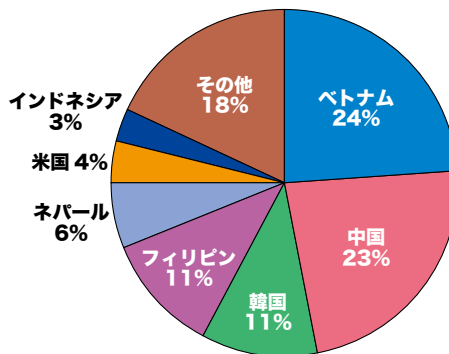
また、月に1回、行政書士による専門家相談会や出張相談会を開催しますので、お気軽にご相談ください。

※在留資格：入国の時に入国・在留の目的に応じて与えられる資格



県内の在留外国人 国籍・地域別内訳

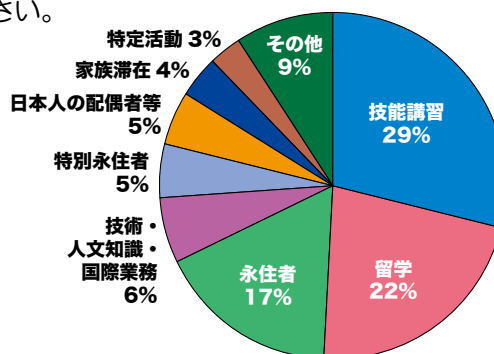
（2019年12月末）



国籍・地域	(人)
ベトナム	2,664
中国	2,514
韓国	1,225
フィリピン	1,151
ネパール	650
米国	485
インドネシア	345
その他	1,961
計	10,995

県内の在留外国人 在留資格別内訳

（2019年12月末）



在留資格	(人)
技能実習	3,226
留学	2,379
永住者	1,863
技術・人文知識・国際業務	694
特別永住者	591
日本人の配偶者等	513
家族滞在	467
特定活動	325
その他	937
計	10,995

協会からのお知らせ

外国人向けお助けガイドブック

英語・中国語・
韓国語・ベトナム語

当協会では県内在住の外国人の方に役立つ3つのガイドブックを作成し、無料配布しています。
ご希望の方は、当協会までご連絡ください。全てのガイドブックは協会ホームページにも掲載しています。

ながさき生活ガイドブック

長崎で生活するのに必要な基本情報がわかりやすくまとめられています。在留資格に関すること、市役所・役場でできること、日本におけるルールやマナーなどの情報を知ることができます。長崎での生活のスタートに役立つ1冊です！

URL: <https://www.nia.or.jp/record/files/medias/07link/seikatsu2019.pdf>



病院に行く時につかう本

外国人の方が病院に行く時のさまざまな不安を少なくするために作りました。病院に行く時に必要なもの、病院の種類、病状を伝えるためのイラストや体の部位と症状の一覧表などが掲載されています。問診表も入っているので、事前に記入しておけば病院での受診がスムーズになります。

URL: <https://www.nia.or.jp/record/files/medias/07link/hospital2019.pdf>



知っておこう！災害が起こるその前に!!

日本は外国に比べ災害大国と言われており、地震・台風・洪水などの災害はいつ起こるかわかりません。災害が起こる前に準備しておくことや、起こった時の対応方法などを知ることができます。災害が起きてからでは遅い！まさに、“災害が起こるその前に!!”の1冊です。

URL: <https://www.nia.or.jp/record/files/medias/07link/saigai2019.pdf>



災害時多言語ボランティアへ登録しませんか？

募集中!

●災害時多言語ボランティアの活動の種類

(1)通訳・翻訳

協会及び協会を通じた市町の依頼に基づく災害情報提供活動における通訳・翻訳を行う。

(2)相談支援

協会が行う外国人からの問合せ等への対応に対する通訳・翻訳を行う。

●登録者の条件

(1)災害時多言語ボランティア登録制度の趣旨を理解し、熱意があること。

(2)ボランティア活動に支障をきたさない一定の語学力(目安として、英語は英検2級程度以上の語学力)を有すること。

(3)長崎県内に在住し、満18才以上(ただし、高校生を除く)であること。

募集要項や登録申込書は協会HPからダウンロードできます。
<https://www.nia.or.jp/record/index.php/view/2>



国際交流応援プロジェクト
～2つのサポート～ 随時募集中!

協会を応援してくださる賛助会員を
募集しています!

1 国際交流スタート支援

～あなたの初めての国際交流を応援!～

- ・企画・運営などをサポートします。
- ・上限10万円で実施経費の一部を助成します
- ※ 対象となる経費が決まっています。

2 草の根国際交流支援

～国際交流事業を行っているあなたを応援!～

- ・上限10万円で対象経費(講師などの謝礼・交通費、会場使用料など)の1/2以内を助成します。

年会費 個人会員: 3,000円
法人会員: 10,000円

賛助会員になって、長崎県の国際交流や国際協力の活動を支えたい、在住外国人の支援をしたいという方、詳細をお知りになりたい方は、是非、当協会までお気軽にお問い合わせください!